

太宰府市議会 市民と議会の意見交換会でいただいたご意見等

令和4年11月13日(日) 10:30~12:00

プラム・カルコア太宰府(中央公民館)4F多目的ホール

1 ○質問

議員と統一教会のかかわりについて、太宰府市で議会でも調査されるのか、また調査結果を説明発表されるのか。

○応答

- ・定例議員協議会等にて確認する。
- ・公表はしないが問い合わせがあれば調査内容を伝える。

2 ○質問

HP上で前回の意見交換会で私が話をさせていただいた内容に触れられていない。もう一度質問させていただく。

- (1) 太宰府市が周辺市より自治体活動・職員能力・重要計画の点で遅れている。特に重要計画を第三者委託に頼りすぎている。
- (2) 議員の研修視察の結果が市行政に反映されておらず、市政の遅れの原因ともなっている。太宰府市の二元代表制の意義を充実させてほしい。

○応答1

- (1) の点につき、職員能力も充実してきており、観光業等の事業では住民と協力をしながら進めている。また、第三者委託は(事業執行方法として)現実的である。

○応答2

- (2) の点につき、遅れの原因としては、周辺市から10年遅れて市政が施行されたことに原因があるかもしれない。ただ、具体的に遅れを指摘されている分野・事業を教えてください。
- (2) の点につき、先進事業を展開している地域への研修は大変勉強になる。研修に参加した議員は研修報告書を提出しており、これを読んでもらえればと思う。

3 ○質問

公民館建設につき、現在最大1,000万円の補助になっている。地域活動拠点として安全な施設の建設が望まれている現実がある一方で、建設費の高騰などで自治会の負担額が異常に跳ね上がっている。そこで、補助額の上積みも切に希望したい。

○応答

公民館建設は住民の負担が原則であるが、安全な地域活動拠点としては、大野城市のようなコミュニティセンター設置運営も選択肢の一つ。自治会側に問題解決の主導権があるが、議会としても努力したい。限度額の設定については検討の余地はあると思う。

4 ○質問

私の近所に住む高齢者が市役所に介護の関係で話を聞きに出向いた際、職員から詳しい話を聞けなかった、課をたらいまわしされたという話を聞いた。また、空き家や隣地の雑草の相談をした際も同様のことがあったと聞いた。どうなっているのかお尋ねしたい。

○応答 1

・窓口の改革、行政の縦割りを廃していく必要がある。多様化、重複した問題に対応できるような人材育成はこれからも議会として対応していきたい。

○応答 2

・空き家問題については空き家条例を作るべきだと提案している。自治会のほうが詳しい情報を持っていることも多いのでまずは自治会に相談してほしい。

5 ○質問

(1) 各議員に対して立候補時の公約達成度について報告が欲しい。議長を經由して質問書配布。

(2) 東小校区の公園で畑を作っている人がいる。情報公開請求中。善処を望む。

○応答

(1) につき、質問書は議員協議会を介して配布。各議員に報告をしてもらう。

(2) につき、現地も確認しており、市にも伝えている。公共の土地であるので無届は良くない。善処するよう伝える。

6 ○要望

プレミアム商品券にハガキで申し込んだが抽選に外れた。応募数はどのくらいあったのか、またどのくらいの率ではずれが出たのか。市広報では 21 億円の黒字報告が大きく出ている。プレミアムにしても、この物価高を考えた時、市民全員とは言わないが応募者全員に出せるような体制をとってほしい。1 世帯 1 万円でも。年金生活者にとって、この物価高は非常に厳しい。要望であり返答は要らないがこういうことも検討してほしい。

7 ○質問

市民公園の使用形態につき疑義を質したい。

(1) 物置が公園内に設置されそのままになっている。本来置けないのではないか。

(2) 歴史スポーツ公園の利用につき、①一般市民は使えない。②契約者が使用キャンセルしても一般市民がキャンセルを知り利用することは困難。③一日使っても 120 円という料金は偏りがあり過ぎる。④既設の芝生をはがしてソフトボールチームが使っている。以上から本来の市民公園に変えるべきではないか。

○応答

(1) 議会においても過去の予算や決算審査時、あるいは一般質問でも指摘している。市監査委員事務局からの指摘もある。

(2) 多目的広場については、単独使用を認めており、使用料は条例に根拠規定があり、物置設置は認めていない。芝生については警察にも届けている。

8 ○質問

12月の広報で21億円の黒字が報告されているが、この物価高で子育てをしている世帯の負担は大きなものがある。例えば21億円の黒字もため込まずに市民に返せばいい。給食費を無料にしてほしいという思いもあるが議会としてはどう取り組もうとされているのか、考えているのかお尋ねしたい。

○応答

・燃料等の高騰、物価高の現状から、国から臨時交付金がおりてきており、それを利用して様々な世代にあった支援を行っています。令和4年9月議会では、下水道料金のひと月分無料化、諸物価高騰時において小学校給食費について質を落とさず給食費を据え置きし、10月分からの給食費の10%相当額の補助、新生児へのプレゼント、さらに小中学校の給食費のうち牛乳費を10月分から実質無料にする補正予算が可決されました。

9 ○質問

前回の意見交換会の質問に対して回答が示されていない。各会場で出た意見等は掲載されているが、回答がない。口頭ではあっているのだろうが知ることができない。質問しても聞くだけになっている。回答や報告がほしい。時間をとっているのだからキャッチボールをしてほしい。

○応答

・紙で渡すことや、HPに掲載するといったことも市議会として検討していきたい。

10 ○質問

子育て支援の観点から中学校給食を実現していただいたことに感謝申し上げるが

(1) 給食調理の問題として、自校方式か親子方式の選択が欲しい。

(2) 給食費の無償化をぜひ図ってほしい。子育て世帯が置かれている現状からすると、給食費は家計の大変な負担になっている。

○応答

・デリバリー食缶方式を今回採用したが、無償化については就学援助制度を今でも採用しており、母子家庭や収入のなかなか上がらない世帯に対する給食費の支援は行っている。平たく全員に無償ということは次のステップで考えたい。

11 ○提案

太宰府市での子育て家庭の現実を情報として、市内転居予定の家庭に知らせるべきではないか。

宅地開発が進み、保育園に入れないことになるのではないかと心配している。

21億円の黒字報告は、転居者に太宰府市が豊かな財政市との誤解を与えかねないものであり、議会としても、正確な情報を出すようチェックを入れるべきではないか。そうでないと、引っ越し後に予想外の負担に悩む世帯を生み出すことになる。

12 ○提案

今回の意見交換会でも発言者が固定されている。議員の個人的見解を発表する場としての意見交換会の開催が欲しい。各区自治会へ常任委員会を2グループに分けて回るだけでも、任期中に2回は回れる。公民館で行われれば、今回欠席した人も出席の可能性もある。検討してほしい。

13 ○要望

太宰府市文化協会の現状をお知らせして、皆様に実態を知ってほしいとともに、ご支援いただきたい。

- (1) 伝統文化の継承を担うという役割をもち継続性が重要
- (2) プラム・カルコア事務所の年間賃借料負担が厳しい。
- (3) コロナ禍で伝統芸維持が困難であるが、事務処理職員補充ができない。

14 ○提案

若い世代は土日しか余裕がなく、議会傍聴の機会を逸している。若い世代の意見を取り入れるためにも、平日ではなく、時間外の議会開催を望む。引っ越ししてきてから後悔している声は聞きたくない。

15 ○要望

令和3年度決算で21億円の黒字収支報告がなされた。その原因は、コロナ禍を理由とした国庫支出金の増額にあり、太宰府市の事業利益増加ではない。今後、コロナ終焉に至れば、国庫支出金の減額は必至であり、予算決算審査において厳しい態度が望まれる。優先順位をつけて審査をお願いしたい。

16 ○提案

- (1) 自治基本条例、議会基本条例に即した審査がなされていない。
- (2) 文化スポーツ振興財団への事業委託を再考すべき。